

所管事務調査報告書(案)

委員会名	産業建設委員会
調査研究 テーマ	「コロナ収束後を見据え、飯田へ人の流れをつくるには」について
テーマ設定の 背景	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、都会から地方への企業移転や移住が進み、県をまたいだ移動の自粛や、巣ごもりを余儀なくされるなど、生活が大きく変化した。 ・本市においては地方への回帰の動きをあまり感じることができず、この動きを本市にも波及させるためには、行政だけではなく市民一人ひとりができることに取り組むことが必要な時期に来ている。
調査研究の 経過・結果	<p>〔課題整理〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の実情や他の自治体の先進的な取り組み実践の視察等を実施することで、地域の果たすべき役割の把握や誘客、移住・定住の促進に向けた効果的な情報発信の在り方等への調査研究を進める。 <p>〔取組経過〕 ※事前の取り組み内容も含む</p> <p>【令和3年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 7月20・21日 委員会(分科会) 議会による行政評価ステップ1(説明・質疑) ➤ 8月3・4日 委員会(分科会) 議会による行政評価ステップ3(意見集約) ➤ 9月8・9日 委員会(分科会) 決算認定審査を通しての質疑 議会による行政評価 委員会意見集約 ➤ 9月27日 議会による行政評価に関し市へ提言 いいだ未来デザイン2028 基本目標1、基本目標2、基本目標12に対する提言 ➤ 11月9日 管外視察(オンライン) 富山県高岡市:魅力的な観光地域づくりと広域観光の推進 愛媛県西条市:「チャレンジを応援するまち」の取り組み ➤ 12月3日 宅地建物取引業協会南信支部(飯伊不動産組合)との意見交換会 ➤ 12月13日 委員会協議会 管外視察のまとめ(所管事務調査報告)、所管事務調査決定 <p>【令和4年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 3月3日4日 委員会(分科会) 議会による行政評価への対応状況の確認 予算審査を通しての質疑、閉会中の継続審査決定、管外視察実施決定 ➤ 4月22日 管内視察 ➤ 5月3日 大学生ユースチューバーとの意見交換会① ➤ 5月9日 アルプスウェア株式会社との意見交換会 ➤ 6月10日 委員会協議会 管外視察詳細決定 ➤ 7月5～7日 管外視察 愛媛県西条市:昼間人口の増加率を高め、地域内経済循環を図るまちづくりについて 香川県高松市:中心市街地のにぎわい復活を目指した拠点づくりについて 香川県高松市丸亀町商店街:中心市街地及び商店街活性化の取り組みについて 岡山県笠岡市:廃校を活用したシェアアトリエの取り組みについて ➤ 7月21・22日 委員会(分科会) 議会による行政評価ステップ1(説明・質疑)

所管事務調査報告書(案)

	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 8月2・3日 委員会(分科会) 議会による行政評価ステップ3(意見集約) ➤ 8月9日 大学生ユースチューバーとの意見交換会② ➤ 8月19日 地域連携DMO 南信州観光公社との意見交換会 ➤ 8月29日 委員会(分科会) 議会による行政評価ステップ4(意見集約) ➤ 9月7・8日 委員会(分科会) 決算認定審査を通しての質疑 議会による行政評価 委員会意見集約 ➤ 9月8日 委員会協議会 管外視察のまとめ(所管事務調査報告) 議会報告・意見交換会のテーマ確認 ➤ 9月30日 議会による行政評価に関し市へ提言 いいだ未来デザイン2028 基本目標1、基本目標2に対する提言 ➤ 12月2日 宅地建物取引業協会南信支部(飯伊不動産組合)との意見交換会 <p>【令和5年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 1月27日 委員会協議会 所管事務調査のまとめ 政策提案の方向性確認 ➤ 2月3・13日 委員会協議会 所管事務調査のまとめ、政策提案のまとめ ➤ 3月1日 委員会協議会 所管事務調査のまとめ、政策提案のまとめ ➤ 3月3・6日 委員会(分科会) 議会による行政評価への対応状況の確認 予算審査を通しての質疑、所管事務調査報告書、再策提案の確認
	<p>〔調査研究結果〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年、4年に実施した管外視察に関しては、実施後の定例会において所管事務報告書としてまとめ議会で報告した。また、意見交換会や管外視察で得た知見や視点をもとに、議会による行政評価や予算決算の審査に取り組んだ。 ・令和3年度 議会による行政評価において市へ提言 <ul style="list-style-type: none"> ●基本目標1「若者が帰ってこられる産業をつくる」に対して <ul style="list-style-type: none"> ・「いいだ未来デザイン2028 策定当時は、若者に光を当て基本目標1を設定することに意義があったと考える。」「高校生と地元企業を「つなぐ」事業は、学生が地元企業にさらに関心をもつきっかけとなるよう、長期的な観点から力を入れた取り組みとされたい。」「新型コロナウイルスの影響があり、達成度が満たない部分もあるが、地域産業の発展と力強い産業づくりのために、息の長い育成と支援を望む。」と提言。 ●基本目標2「飯田市への人の流れをつくる」に対して <ul style="list-style-type: none"> ・「飯田市への人の流れをつくる上で、移住定住の取り組みは、短期的・中期的な戦略を並行して進め、一定の効果を上げていることは評価する。」「移住候補地としての評価が高まってきている」をいかに「移住する場所として選定してもらえる」に変えるための取り組みが必要である。」と提言。 ・令和4年度 議会による行政評価において市へ提言 <ul style="list-style-type: none"> ●基本目標1「稼ぎ、安心して働ける「魅力ある産業」をつくる」に対して <ul style="list-style-type: none"> ・「コロナ禍で脚光を浴びたテレワーク、サテライトオフィスが、飯伊地域においてどの様に進んでいくのか見極めが必要である。」「女性を始めとする人材確保のため、ワーク・ライフ・バランス、働き方改革を具体的にどのように進めていくのか示す必要がある。」「コロナ禍においても、できる取り組みをしていくことが必要である。」「企業・オフィス誘致の取り組み強化とスピードアップが必要である。」「地域内経

所管事務調査報告書(案)

	<p>済循環の推進に向けた、より具体的な取り組みが求められる。」と提言</p> <p>●基本目標2「飯田の魅力を発信し、つながる人を増やし、飯田市への人の流れをつくる」に対して</p> <ul style="list-style-type: none">・「アフターコロナの状況が、今ひとつ見通せない状況にある。」「基本目標2は飯田市の総合力が求められると共に、地域全体の取り組みにしていく必要がある。」「西条市が取り組んできたように、ブランド力向上の前に、「全ての飯田の強みを洗い出したか」「全ての玉をすべて打ったか」を再度検討してみる必要があるのではないか。」「一つひとつの活動はどれも評価するが、それぞれの活動が改善傾向に至らないことの分析を、関係者と一緒に総括する仕組みが無いのではないか。」と提言。・これらの調査研究の取り組みや、『「いいだ未来デザイン 2028」の中期計画3年へ向けて～令和4年度「議会による行政評価」からの評価及び提言書への対応状況』を踏まえ、別紙の提案としてまとめた。
--	---